

Z町家庭医療クリニック

研修ローテーション概要

耳鼻科

三年目

最終更新：2013年3月11日

目的(Goals):

- A) プライマリケアの診療所において、頻繁に遭遇する耳鼻科的疾患の診断と治療に十分習熟する。
- B) 全身疾患の耳鼻科的特徴を特定できる。
- C) 耳鼻科外来において頻繁に用いられる手技を経験し、習熟する。
- D) 耳鼻科的救急疾患を認識し、緊急の紹介が必要となる状態を把握する。
- E) 耳鼻科的な用語の扱いに習熟する。

目標(Objectives):

- A) 患者ケア
 - 1. 適切な病歴が取れる。
症状の期間、重症度、随伴症状、既往歴および家族歴。
 - 2. 適切な耳鼻科的診察ができる。
耳鏡・鼻鏡を用いて、鼓膜所見、咽頭所見、鼻腔所見を記載できる。耳垢除去が出来る。
 - 3. 喉頭ファイバースコープ（下咽頭まで観察）、フレンツェル眼鏡を用いた検査が出来る。
卒業までに、一度は経験すること。
- B) 医学的知識
耳鼻科にて頻繁に遭遇する、下記疾患の診断と治療を理解する。
 - ㊦ 回転性眩暈・非回転性眩暈：めまいの鑑別、Dix-Hallpike test、Epley 法が出来る。
 - ㊦ 喉頭炎・気管炎
 - ㊦ 咽頭炎
 - ㊦ 扁桃腺炎：コンサルトすべき時期が分かる。
 - ㊦ 中耳炎：急性および慢性。コンサルトすべき時期・鼓膜切開の適応が分かる。
 - ㊦ 副鼻腔炎：急性および慢性。
 - ㊦ 嚥下障害
 - ㊦ 嗄声
 - ㊦ 耳痛
 - ㊦ 聴力低下：補聴器の適応・老年性難聴：障がい者手帳申請の適応が分かる。
 - ㊦ 耳鳴り
 - ㊦ 頸部腫瘍
 - ㊦ 鼻出血：ガーゼの挿入が出来る。
 - ㊦ 異物除去：外耳道異物（昆虫等）
 - ㊦ 耳垢塞栓：耳垢塞栓除去術が出来る。
 - ㊦ 鼻茸：手術の適応が分かる。
 - 1. プライマリケアの診療所において、頻繁に遭遇する耳鼻科的病変を適切に表現できる。
 - 2. 耳鏡を用いた診察を行うことができ、その解釈が出来る。
 - 3. 正常な耳・鼻・咽頭の解剖と生理および、頻繁に遭遇する病変の病理を理解する。
 - 4. 頻繁に遭遇する耳鼻科的疾患の鑑別疾患を挙げ、適切なフォローをすることができる。
- C) 診療に基づいた学習および改善
 - 1. 自分自身の教育を補助する、情報検索を目的とした IT を活用する。
 - 2. 臨床推論を理解し、医学生や他職種スタッフの学びを手助けできる。

D) 対人およびコミュニケーションの学習

1. 耳鼻科医と協力的に働くことができる。
2. 耳鼻科的問題・治療の説明を、患者および家族が理解出来るように提供することができる。
3. 患者教育資料・パンフレットなどを、適切に提供できる。
4. 全ての他職種スタッフに対し、良好なコミュニケーション能力を発揮できる。

E) プロフェッショナルリズム

1. 日々の業務を迅速に完遂することができる。
2. プロフェッショナルとしての全ての職業活動において、敬意、思いやり、誠実さ、自分を高めていく努力を発揮できる。
3. 各患者の文化、年齢、身体的障害に対する思いやりと反応がある。

F) システムに基づいた診療

1. プライマリケアの診療所から、耳鼻科医に紹介すべき疾患や適応を理解する。
2. 費用対効果に見合った検査・治療を行うことができる。
3. 保険適応病名を理解し、適切な病名・手技を請求・登録することができる。

方法(Plans):

- A) レジデントは3ヶ月を公立Z町病院耳鼻科にてローテーションする。レジデントは患者を診察し、病歴を取り、身体診察を行い、必要な検査を考慮または実行し、耳鼻科指導医と症例についてディスカッションを行う。
- B) レジデントはローテーションの期間中も、家庭医療外来での職責を継続する。
- C) 必要な項目について学習を継続する。

過去のレジデントが実際に経験した主な症例

(特に頻繁に遭遇した疾患)

滲出性中耳炎、副鼻腔炎、鼻出血、耳垢塞栓、聴力障害(感音性・伝音性難聴)、老年性難聴、アレルギー性鼻炎(スギ花粉症)

(その他、遭遇する機会のある疾患)

甲状腺腺腫、真珠種、流行性耳下腺炎、鼻茸、ベル麻痺、咽喉頭異常感症(globus syndrome)、リンパ腫、唾石、BPPV、メニエール病、顎関節症、ハント症候群、歯肉炎

(Y病院耳鼻科で遭遇した疾患)

真珠種、甲状腺がん、扁桃異物、慢性鼓膜炎、ヘルペス感染症、鼻出血、各種手術後フォロー、真珠種性中耳炎、癒着性中耳炎、喉頭肉芽腫、外耳道真珠種、扁桃腺炎、鼻茸、声帯ポリープ

(特に頻繁に経験できる手技)

耳鏡検査・鼻鏡検査

顕微鏡を用いた耳垢吸引

耳垢鉗子・麦粒鉗子を用いた耳垢塞栓除去術

(その他、経験する機会のある手技)

フレンチェル眼鏡を使用した平行機能検査、喉頭ファイバースコープ

(見学のみ)

補聴器外来(月曜のみ)、オージオメトリー検査(検査室)、電気焼灼術(鼻出血)、鼓膜切開、穿孔を伴う慢性中耳炎の処置

主な研修場所： 公立 Z 町病院・Y 市立総合病院

ローテーション先指導医：

医師 A、医師 B（公立 Z 町病院）

医師 C、医師 D（Y 市立総合病院）

研修に関する連絡先：

医師 E、医師 F（Z 町家庭医療クリニック）

集合場所：

公立 Z 町病院 耳鼻科外来 月曜日 08:30 火曜日 09:00

レジデントはローテーション開始 1 週間前までに、耳鼻科外来師長までローテーション開始予定日の連絡をすること。

回診・カンファレンスなど：

特になし。

職務内容：

公立 Z 町病院 耳鼻科外来

当直：

ローテーション開始前月の 15 日までに、公立 Z 町病院医局のカレンダーまで都合の悪い日程を記載しておくこと。当直日程は G 先生によって割り振られている。

参考書等：

耳鼻咽喉科疾患 ビジュアルブック Gakken

週間スケジュール

	月	火	水	木	金
AM	耳鼻科外来 補聴器外来	耳鼻科外来	家庭医外来 (HDB)	家庭医外来 (HDB)	家庭医外来 (HDB)
PM	眼科外来	家庭医外来 (HDB)	家庭医外来 (HDB)	眼科外来	Grand Round

※オプション：Y 市立総合病院 耳鼻科

基本的に見学だが、手術適応の患者を中心に、Z 町では滅多に遭遇しない症例を見ることが出来る。また、診察室に顕微鏡・喉頭鏡のモニターが付いているため、手技に関する視覚的学習が可能である。

Y での研修を希望する場合は、事前に指導医と相談の上、T 先生から耳鼻科（耳鼻科医長：J 先生）まで連絡し、段取りを付けてもらうと良い。

月・水・金 午前：一般外来

火・木 午前：予約および救急外来のみ。午後は手術。